

# 事業概況

## 特殊電池およびその他事業

### ジーエス・ユアサ テクノロジー 社長メッセージ

当社は航空機用や潜水艦用で世界初のリチウムイオン電池の採用実績を持ち、特殊分野での高い知名度を誇ります。衛星に搭載されている電池の容量では、世界1位の実績を持っています。このアドバンテージを活かした新しい社会インフラへの採用を勝ち取っていくことができる技術開発力を強みとしています。

防衛用途では、熱電池の開発や量産を受注し、増産計画を進めています。宇宙用途では、国内のH3ロケットに熱電池やリチウムイオン電池が採用され、商用化に向けた受注量の増加が見込まれます。さらに、米国のアルテミス（月面探査）計画にも参画し、国際宇宙ステーションのような居住環境に使用される電池の開発も行い、一部納入を完了しました。航

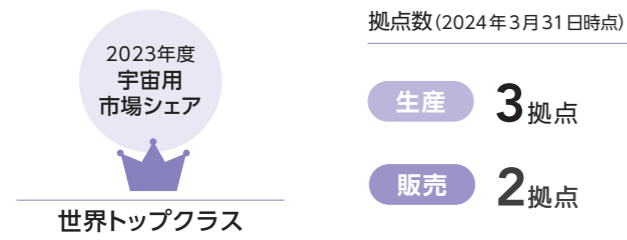
(株)GSユアサ 執行役員  
(株)ジーエス・ユアサ  
テクノロジー 代表取締役社長  
**並河 芳昭**



空機用途では、OEMで納入したリチウムイオン電池の取り換えが順調に進捗し、利益の柱となっています。

第六次中期経営計画期間中は、潜水艦用リチウムイオン電池の需要が堅調に推移するほか、航空機用リチウムイオン電池のエアライン（補修）需要が拡大し、物量の増加を見込んでいます。2024年度も前年度比増収増益を見込んでおり、3期連続の増収・増益を達成することを期待しています。

### 基本情報



### SWOT分析

<ul style="list-style-type: none"> <li>国内唯一の特殊電池メーカー</li> <li>新しい社会インフラへの採用を勝ち取っている高い技術力と信頼性</li> </ul>	<p><b>強み S</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化の遅れ</li> <li>設備老朽化</li> </ul>	<p><b>弱み W</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防衛生産基盤強化法の成立・施行</li> <li>宇宙など新規市場の拡大</li> </ul>	<p><b>機会 O</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発難易度アップによるコスト高</li> <li>電池起因のインシデントの発生</li> <li>社会的責任の増加</li> <li>地政学リスクによるリチウムイオン電池部材の安定調達への懸念</li> </ul>	<p><b>脅威 T</b></p>

### 第六次中期経営計画の事業戦略

#### 方針

最高水準の性能と品質の電池で新しい社会インフラ構築に貢献する

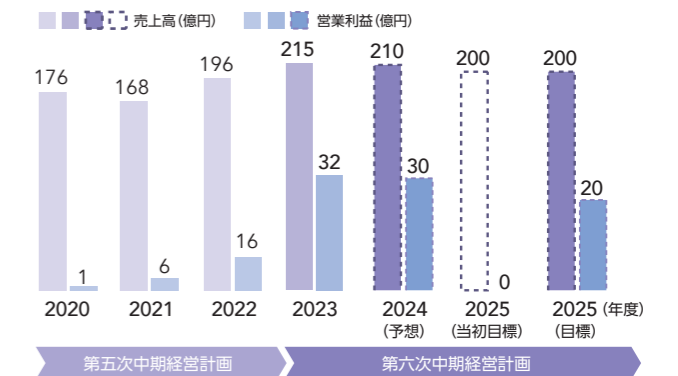
#### 戦略および重要課題

- | 特殊電池事業   | その他   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>防衛産業の基盤強化取り組みに伴う収益性の改善</li> <li>次世代潜水艦用リチウムイオン電池の開発</li> <li>航空機用リチウムイオン電池の増加に向けた対応</li> <li>衛星用リチウムイオン電池の拡販</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境対応コストの増加</li> <li>DX / 新規事業創出関連コストの増加</li> </ul> |

#### 今後の取り組み

- 【潜水艦用リチウムイオン電池】
  - 適正な利益確保と電池の交換需要に向けた準備
- 【その他特殊電池】
  - 防衛力向上に向けた増産対応

#### 売上高・営業利益



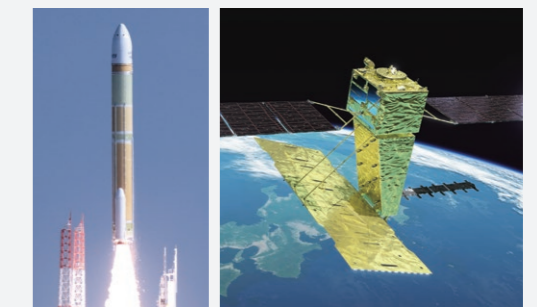
(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

#### 2025年3月期の見通し

- 潜水艦用リチウムイオン電池
    - これまでの新造艦向けに加え、換装用電池の生産に対応すべく増産対応の準備を進める
  - 航空機用・宇宙用リチウムイオン電池
    - コンステレーション衛星※用途に向けた受注活動を展開
- ※複数の人工衛星を連携させて一体的に運用するシステムのこと。

### TOPICS GSユアサが開発した電池がH3ロケット3号機と先進レーダ衛星「だいち4号」に搭載

ジーエス・ユアサ テクノロジー (GYT) が開発・製造した電池が、三菱重工業株式会社と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) により開発され、2024年7月1日に打ち上げられたH3ロケット3号機と、同ロケットに搭載の先進レーダ衛星「だいち4号」に採用されています。災害状況の把握や森林観測、海洋監視などに貢献する「だいち4号」にはGYT製の宇宙用リチウムイオン電池が採用されており、地球の陰に入ると太陽光による発電ができない期間に電力を供給します。



H3ロケット(提供:JAXA) 先進レーダ衛星「だいち4号」(提供:JAXA)